

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公表番号】特表2008-514420(P2008-514420A)

【公表日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【年通号数】公開・登録公報2008-018

【出願番号】特願2007-534722(P2007-534722)

【国際特許分類】

B 01 J 37/02 (2006.01)

B 01 J 37/18 (2006.01)

B 01 J 29/74 (2006.01)

C 10 G 45/52 (2006.01)

C 10 G 45/54 (2006.01)

C 10 G 45/40 (2006.01)

【F I】

B 01 J 37/02 101 E

B 01 J 37/18

B 01 J 29/74 M

C 10 G 45/52

C 10 G 45/54

C 10 G 45/40

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細孔を有する担持貴金属酸化物触媒を、エクス・シチュで還元および乾式不動態化する方法であって、

(a) 前記触媒を水素および不活性ガスの混合物の存在下に還元して、還元触媒を製造する工程；および

(b) 前記還元触媒の乾燥および易流動性が保持されるように、

前記還元触媒を不活性雰囲気下で冷却する工程、および

前記還元触媒の細孔に、過剰液体の非存在下に油を満たす工程

を含む方法により、前記還元触媒を不動態化する工程

を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記不活性雰囲気は、窒素であることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記オイルは、ホワイトオイルであることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記オイルは、パラフィン系オイルであることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記オイルは、低硫黄留出物であることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記触媒は、MCM-41に担持されたパラジウムおよび白金であることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記貴金属は、パラジウムおよび白金であることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記触媒の担体は、メソポーラスもしくはゼオライト系マトリックスであることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項9】

細孔を有する担持貴金属酸化物触媒を、エクス-シチュで還元および乾式不動態化する方法であって、

(a) 前記触媒を水素および不活性ガスの混合物の存在下に還元して、還元触媒を製造する工程；および

(b) 前記還元触媒の乾燥および易流動性が保持されるように、

前記還元触媒を不活性雰囲気下で冷却する工程、および

前記還元触媒を空気曝露する工程

を含む方法により、前記還元触媒を不動態化する工程

を含むことを特徴とする方法。

【請求項10】

前記貴金属は、パラジウムおよび白金であることを特徴とする請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記触媒の担体は、メソポーラスもしくはゼオライト系マトリックスであることを特徴とする請求項9に記載の方法。

【請求項12】

前記触媒は、MCM-41に担持されたパラジウムおよび白金であることを特徴とする請求項9に記載の方法。